



7月1日から外来診療を始める新しい市立病院（八坂町）

目指すのは **住みなれた地域で健康をささえ、  
安心とぬくもりのある病院** です

湖東地域の中核病院にふさわしい機能を備えるため、旧県立短期大学の敷地（約8万㎡）に移転新築された新しい彦根市立病院。総病床数は470床（現病院は346床）、外来診療科は、新たに心療内科、形成外科を加えた18診療科です。「住みなれた地域で健康をささえ、安心とぬくもりのある病院づくり」を基本構想に、機能を充実しました。

一方、建築物には地震に強い免震構造を採用するなど、災害時の拠点病院としての機能も兼ね備えています。そして、びわ湖や周りの山々が一望できる設計、クリーンエネルギーの採用など、人と自然の環境に配慮した施設となっています。

（詳しくは、5～12ページの特集をご覧ください。）